

令和6年10月27日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報（第11区）

秩父市・本庄市・深谷市・横瀬町
皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村
美里町・神川町・上里町・寄居町
埼玉県選挙管理委員会

チエンジ! 裏金政治

日本共産党の躍進が
腐敗政治の根をたち
金で動く汚い政治を
ただす確かな力です

願いをこめた一票は

比例代表は 日本共産党
小選挙区は 柿沼はるき
とお書きください。

働く人の
「自由時間」拡大
賃上げ&時短を
中小企業支援とセットで

日本共産党
提案 1日7時間、週35時間

プロフィール

●1983年東京生まれ●本庄第一高校卒業／岐阜聖徳大学教育学部卒業●本庄児玉・深谷で小学校教諭、民青同盟埼玉県委員会勤務を経て
●現在 埼玉北部地区委員会勤務／副委員長

裏金問題、統一協会との癒着にフタでは
腐敗政治の「改革」はできません。

憲法改悪反対
大軍拡No!

保険証残せ
核兵器禁止条約批准を
外交の力で平和構築

ジェンダー平等と一体で
男女賃金格差なくす

男性も女性も子育て・介護と仕事が
両立できるように政治をかえよう

希望を
あなたと
共に



柿沼はるき
かきぬま 遥輝
日本共産党



日本共産党HP

- 消費税減税
- 社会保障充実
- 教育費負担軽減
- 暮らしを支え格差をただす
税・財政改革で財源確保

- 気候危機打開、
エネルギー・食糧の自給率向上
原発と石炭火発を
ゼロにして持続可能な
経済社会への改革

食料自給率を早急に
5割に、計画的に
6~7割へ引き上げ

こんな「まやかしの政治状況」が
何十年も続いたら、国は衰退し、私たちの幸せは滅ぶばかりです。
男女平等で力を合わせることで、
未来が広がります！

物価高に立ち向かうために

■時限的に、消費税を5%に、食料品は0%

まっとうな政治づくりのために

■すべての政治活動費の公開を
■企業・団体献金、政治資金パーティーの廃止

持続可能な地域経済のために

■中小企業・個人事業者を支援する地域経済自立・循環支援体制の確立
■大規模・IT化農業作りの支援にくわえ、中小農林業の存続と後継者の育成
■埼玉県北の特性を生かした、多様な自然エネルギー創出によるビジネスづくり
■インボイス制度の廃止

女性の地位向上のために

■さらに進めるために、政治をはじめ各分野の女
性の割合を法律で義務化



高齢者の幸せのために

■健康で元気に生きがいをもって地域で生き続け
られるように、新たな相互扶助の仕組みづくり

少子化のために

■教育費、給食費の無償化へ
■子育てにかかる社会サービスを積極的に準公共
サービス化。きめ細かな支援で、子育て世代を国を
あげて強力にサポート

平和を守るために

■今の平和憲法を尊重し、全方位外交対話重視で
国際関係の構築を

このまま
良いのか
日本?

若者の人生を応援するために

■若者支援法を制定し、全国の自治体で福祉では大きな力となっ
いる『社会福祉協議会』のように、『若者支援協議会』を設置し、若
い人たちの様々な課題を応援サポート。

(1958年) ■寄居町生まれ。熊谷高校、千葉大
学園芸学部園芸経済学科卒業(在
学中は有機農業を系口に、エコロ
ジーと社会経済の調和・融合を探
求する) ■卒業後は熊谷市役所に
勤務し、企画課、都市計画課、情報
政策課などの第一線で、政策立案・
事業化・システム開発などに從事

(2006年) ■48歳 寄居町長選挙に挑戦するも
惜敗 ■明治大学・公共政策大学院
にて公共政策学修士の学位を取得

(2010年) ■52歳 寄居町長選挙 初当選(任期
4年)

(2018年) ■「東京オリンピック後の10年をどう
つくるか」を発刊し、活力ある地域
ビジョンを提言する

(2021年) ■63歳 第49回衆議院議員総選挙に
挑戦するも惜敗

経歴

家族構成
父(横瀬町出身)、母(深谷市出身)、妻(皆野町出身)、
子ども3人(自立)。現在は妻(東秩父村・長瀬町・
皆野町の元小学校教諭)と2人暮らし



島田誠
しまだ
まさと
立憲民主党



小泉りょうじ
こいずみ
自由民主党公認

次世代支援こそが活路を拓く



① 公平公正な社会を実現

◆約一年間、法務大臣として全力投球して参りました

② 失われた30年
静止した経済を再起動

◆経済の停滞により若者の未婚化や晩婚化が進行、
少子化対策のほか、大企業のガバナンスの
強化が必要

略歴

●1952年9月生まれ(本籍:秩父市中町) ●1975年 東京大学法学部卒・大蔵省入省 ●1996年 大蔵省退官
●2000年 衆議院選挙初当選 ●2021年 衆議院選挙当選(7期目) ●2023年 法務大臣

③ 少子化対策

◆党少子化対策調査会会長代行として提言を
取りまとめ、これらを踏まえ、岸田内閣が
「異次元の少子化対策」を決定

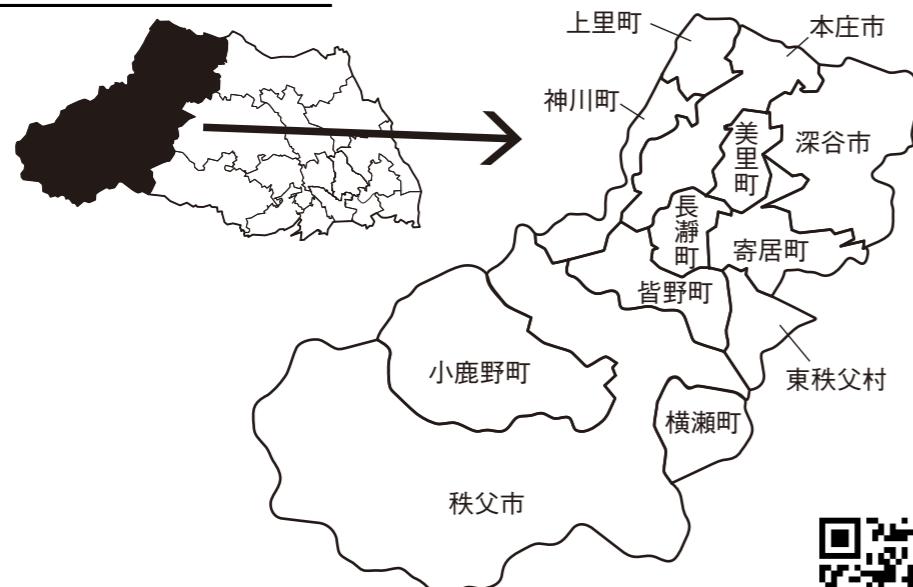
④ 国民の命を守る・国土強靭化

◆国土強靭化基本法を議員立法により
改正・強化しました



<https://www.ryuji.org>

埼玉県第11区



18歳から投票できます。



10月27日(日)は投票日
期日前投票期間 10月16日(水)～26日(土)

小選挙区選挙は、候補者名を書いて投票します。

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したもの

投票日 10月27日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで ※投票所により異なる場合があります。

親子で投票にいこう



埼玉県マスコット「コバトン」

仕事や旅行など投票日に予定のある方は、期日前投票をご利用ください。
詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

期日前投票期間 10月16日(水)~26日(土)

午前8時30分～午後8時

埼玉県選挙管理委員会の特設ページでは、期日前投票所の混雑状況や候補者情報など様々な情報を発信しています。

埼玉県選管

検索



埼玉県選挙管理委員会